

左の一編は元横濱十全病院長たりしドクトルシモン大氏の論文よりて我國情に適切なりと信玄譯して以て貴社に投す掲載と得ば幸甚

何をか文明と云ふ

伊吹雷太譯

文明なる言葉は近時日本人の中に大分流行し日常の集會宴席等にも常用の語となりたるを予が耳新しげに掲げたらば無用の事を言ひ出すと感する人もあらんがれども予の此問題を持するや亦久しく、今日日本の親友將士外國の益友に逢ふおとに、毎時も此の問題を以てそるふ日本人の答は全く外國人と異にして「歐米の如くあるい是即文明あり」とは日本人の常言あり故に一步を進めて詳悉ある説明を與へよと云へば日本人は直ちに歐米各國の風俗習慣の如きは自國の事情を吟味し最もある所を述べて曰く薦籠と用ひるの旅行は鐵道汽船の如かず、疊に坐するの習慣は椅子に選るの安樂に及ばず、巻き烟草を薰するは遙に竹煙管にて吸烟するに勝れり、善男善女向々手と交へて共に踏舞するの快樂も美人獨り舞ふの比に勝らざるあり云々と畢竟日本人は此答辨は歐米の風俗習慣日本固有の風俗習慣よりも善良にして歐米の文明眞に完全ありとの妄想より生じたるなり適々文明の義を知る人あるも甚ざ少數みて數ふるに足らざるあり

歐米の風俗習慣の中には甚だ稱賛すべきもの多しと雖も日本の風俗習慣中にも其性質種類こそ歐米のものと能はざる毛は少なからず是即ち予に日本人の何と以て異あれども兩者の間よ是非善惡の語と用ひて、區別乞はれる所以なり

歐米の文化は完全無缺として細大模倣して以て規定の文明が善美に達するには前途甚ざ遠遠なり今日の行の有様あるハ歐米人が自ら許容する所あり左れば世人の所謂文明國ある歐米の風俗習慣を模倣して一箇の新文明國と銘治せんと欲する日本人は先づ善惡と識別し苟めにも盛禮空式(From)を取るの弊なからんなどと務むるは大切あり

抑も文明の深義は唯單に人民生計の方法習慣風俗の差違衣食語の區別に因らざるあり見よ歐米の各國即ち其の文明が善美に達するには前途甚ざ遠遠なり今日の風風と同ふすと雖ども一般人民は習俗は各國の間甚ざ相存して遂に今日より馴致しだるものあり然るを外國人は日本の風俗を不文明とするならんなど自家に考へふ於て自國の風習を悉皆放棄せんとするは日本人の甚だしき誤解なり故に外國人も此の事實を見て氣の毒と堪へ云へば嘲謔み矢継に模倣して更に其物の利害適合を圖るの實相あると信するあり

大村芳一司三全八百二出版

前も述べし如く歐米諸國各其風俗習慣を異にするが如く皆同等より文明の稱を得て其相異なるが爲めに自國は風習を放棄したる國あるを聞かず佛蘭西決して露國は風

習と模倣せざ露國又決して佛蘭西を模倣せざるなり勿論國家人民の幸福安寧を増進する事物ふぞて或る一國

之を爲すあらんふは唯財政困難の源に沈むるのみ

西洋人に玄て能く日本的事情を知るものは日本と一個

の文明國にして其文明も比較的に高尚ありと稱するに

も聞はゞす日本人のみは自國と不文の國と云ひあすふ

と實に奇怪ある事共なり日本文明の事物は其種類性質

(King)歐米の文物と異あれども種類の違ひ其物の

不文なる微細あらざるのみか日本人の文明は素ろ誇張

し得べきものなりとい西洋人の定論なり日本人は支那

と自國は如く野蠻の一國ありと稱すれば歐米人は之に反し支那ハ一個の文明國にして其文明も比較的よく高

尚ありと云ふにねらすや今より二三百年前を回顧すれば今日の歐米諸國は支那日本などの國々に比すれば

眞に見る影もなき野蠻國ありき日本人が自分と自國と

不文の國ありと稱へて強て野蠻或は半開國の仲間に加

入せるが如きは實に智慮なさることにて自尊自重の性質

を欽きたるもと云はざるを得ざるあり

日本の文明は古屋舊家と譽ふべく數百千歳の間日進世

界の局外に立て時々新柱舊柱に代へることありしよ

り多少壞敗の所はあれども全體の構造は甚だ善良にして

國の經濟の度にも適ひ又人民に必要な保護慰安を與

ふるに足る建物あり然るに日本人は歐米の文明外に文

明なきものと考へ之れを得るには如何なる損失とも顧

とぞ漫に從來の舊宅を破壊去て根柢より改築せざる

べからずと信する人あれども日本の舊宅必ずしも悉皆

壞敗したるにあらざれば能く吟味注意して唯其破

壊の場所、腐朽の柱づけを歐米の新材料にて補修する

利あるに如うざるあり然る時は歲月と共に日本は舊屋

も腐朽の柱は取り去られ、壞敗の場所は儘先られ日本

人民に必要な保護慰安も亦行はれ殊に急劇の變化と附

隨する財政困難の憂もなくして完義なる文明國とある

べきを信するなり

文明の義を數言にて説明するは甚ざ困難あることなれども凡る國家文明の基礎には一定の主義あるものよし

て其主義に従ひ政府を建て社會を組成し以て人民をし

て平和安全に生存せし先ざるベウラモ而して其主義は左れ四項に分て略説するを得べし

第一文明政府 文明政府とは正實忠直ある人々と以て

政府を組成し一般國民の便益と目的とて政令法度

を作爲施行し而して國の秩序治安に妨げなき限りは

と進取享有せしむるものなり

第二文明社會 文明社會とは眞諦の力(法律力)とあら

りて正實忠直の行と屬まし社會の人々を団々を導

いて品行を方正ならしめ媒界孤獨居る者たる民を保

護扶助するものあり

第三文明家族 文明家族とは婚姻嫁娶の禮を重んし品

行正直の德と養ひ子は親より愛し吉凶禍

福喜憂苦樂共に語り共に享け互に隔離することなく

父母親あらば身自子と教育し和氣洋々たるもの

を教へ云へば嘲謔み矢継に模倣して更に其物の利害適否と圖るの實相あると信するあり

端雅にして行狀正直と他人の感情を害するあくまで己の幸福と享け樂むれと云ふ

本の實際を了知したものと云ふるや否や吾輩の想

ふ所なりと或る人は語りき

○機関學校の改革 去月十五日勅令第三十五號を以て

公布にありたる海軍機關學校の官制には校長は大佐或

は機關大監を以て之れより充つるよりて從來橫須賀に

設置を置きる海軍機關學校の校長は少將を以て充て

本の實際を了知したものと云ふるや否や吾輩の想

て一般引下げるやのとく思はれるが如く實際の地位

に現存せる者あらんふは他に諸國も争て模倣せざるなり勿

論國家人民の幸福安寧を増進する事物ふぞて或る一國

之を爲すあらんふは唯財政困難の源に沈むるのみ

西洋人に玄て能く日本的事情を知るものは日本と一個

の文明國にして其文明も比較的に高尚ありと稱するに

も聞はゞす日本人のみは自國と不文の國と云ひあすふ

と實に奇怪ある事共なり日本文明の事物は其種類性質

(King)歐米の文物と異あれども種類の違ひ其物の

不文なる微細あらざるのみか日本人の文明は素ろ誇張

し得べきものなりとい西洋人の定論なり日本人は支那

と自國は如く野蠻の一國ありと稱すれば歐米人は之に反し支那ハ一個の文明國にして其文明も比較的よく高

尚ありと云ふにねらすや今より二三百年前を回顧すれば今日の歐米諸國は支那日本などの國々に比すれば

眞に見る影もなき野蠻國ありき日本人が自分と自國と

不文の國ありと稱へて強て野蠻或は半開國の仲間に加

入せるが如きは實に智慮なさることにて自尊自重の性質

を欽きたるもと云はざるを得ざるあり

日本の文明は古屋舊家と譽ふべく數百千歳の間日進世

界の局外に立て時々新柱舊柱に代へることありしよ

り多少壞敗の所はあれども全體の構造は甚だ善良にして

國の經濟の度にも適ひ又人民に必要な保護慰安を與

ふるに足る建物あり然る時は歲月と共に日本は舊屋

も腐朽の柱は取り去られ、壞敗の場所は儘先られ日本

人民に必要な保護慰安も亦行はれ殊に急劇の變化と附

隨する財政困難の憂もなくして完義なる文明國とある

べきを信するなり

文明の義を數言にて説明するは甚ざ困難あることなれども凡る國家文明の基礎には一定の主義あるものよし

て其主義に従ひ政府を建て社會を組成し以て人民をし

て平和安全に生存せし先ざるベウラモ而して其主義は左れ四項に分て略説するを得べし

第一文明政府 文明政府とは正實忠直ある人々と以て

政府を組成し一般國民の便益と目的とて政令法度

を作爲施行し而して國の秩序治安に妨げなき限りは

と進取享有せしむるものなり

第二文明社會 文明社會とは眞諦の力(法律力)とあら

りて正實忠直の行と屬まし社會の人々を団々を導

いて品行を方正ならしめ媒界孤獨居る者たる民を保

護扶助するものあり

第三文明家族 文明家族とは婚姻嫁娶の禮を重んし品

行正直の德と養ひ子は親より愛し吉凶禍

福喜憂苦樂共に語り共に享け互に隔離することなく

父母親あらば身自子と教育し和氣洋々たるもの

を教へ云へば嘲謔み矢継に模倣して更に其物の利害適

否と圖るの實相あると信するあり

さる由にて今來の機關學校

にて年限は三

合と成り其學

ひふ此兩校を

募集中從前の

之を當年

に會して討議

夫迄には吳海

の塾地に之を

合せしむる順

り其門主福

萬事を主裁す

を發し着山に

に會して討論

五日之れを開く

○知恩院本末

の塾地に之を

合せしむる順

に會して討論

五日之れを開く

○東京府令第43號

明治十九年(八月)農商務省令第九號蠶種檢查規則

據

於て之を當年

寄附金

子爵義有禮は五年十二月迄に金六百圓を文部省實計局へ納むる事

を寄附し左の方法に由り處理せんと文部省に願出てたるに付し同省に

之を當年

寄附金は之を五年二十圓を交付

する事

二 文部省は之を五年二十圓を交付